

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和元年5月15日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 令和元年秋田県留置施設視察委員会委員任命式における公安委員長挨拶について

2 報告事項

(1) 平成31年4月中の「苦情」の取扱について

県警察から、平成31年4月中の「苦情」の取扱に関する報告があった。

苦情受理件数は1件で、警察宛てであった。

苦情の内容は、「職務質問に関するもの」1件である旨の報告があった。

委員から、『一般論として、警察は制服を着ていることから、威圧的に見られることが多いため、言動には十分注意していただきたい。また、苦情への対応は一つ一つ丁寧にしていただきたい。』との発言があった。

(2) 平成30年度秋田県留置施設視察委員会の活動状況について

県警察から、平成30年度秋田県留置施設視察委員会の活動状況に関する報告があった。

平成30年6月以降、留置施設視察委員会が県内12警察署の留置施設を視察した。委員からの改善意見に基づき、施設等の改善措置を行っている旨の報告があった。

委員から、『委員の方々からはそれぞれの立場から指摘していただいております、県警はそれに迅速に対応している。今後も委員には適切な指摘をしていただきたい。』との発言があった。

(3) 令和元年春の勲章伝達式の実施について

県警察から、令和元年春の勲章伝達式の実施に関する報告があった。

5月21日、秋田市山王「ふきみ会館」において、第32回「危険業務従事者叙勲」受章者16人に対して、警察本部長が勲章等を伝達する旨の報告があった。

委員から、『受章は長年の御労苦の評価である。我々も出席してお祝い申し上げます。』との発言があった。

(4) 大学生少年サポーター委嘱書交付式について

県警察から、大学生少年サポーター委嘱書交付式に関する報告があった。

5月16日（木）警察本部において、悩みや問題を抱える少年への立ち直り支援活動等を行う大学生少年サポーター10人に対する委嘱書交付式を実施する旨の報告があった。

委員から、『少年非行は大分減ったとの報告を受けているが、大学生少年サポーターはまだ必要とされる活動である。大学生にとってもやりがいのある活動であり、これからも頑張っていたきたい。中でも学習支援は有効な支援であり充実させていたきたい。』との発言があった。

(5) 男鹿市内における非現住建造物等放火事件被疑者の逮捕について

県警察から、男鹿市内における非現住建造物等放火事件被疑者の逮捕に関する報告があった。

男鹿警察署は、令和元年5月9日、男鹿市内の自宅に放火し、同住宅を全焼させたとして、令和元年5月10日、非現住建造物等放火の疑いで無職の男性（58歳）を通常逮捕した。

委員から、『放火は重大な犯罪であり、しっかり捜査していただきたい。』との発言があった。

(6) 平成31年4月末の交通事故発生状況について

県警察から、平成31年4月末の交通事故発生状況に関する報告があった。

4月中の交通事故発生状況は、発生件数115件、死者数は5人、負傷者数127人と、前年同期より発生件数は9件、死者数は1人、負傷者数は1人それぞれ増加した。

委員から、『4月は死亡事故が多かった印象がある。交通安全運動期間中は各地域で色々な施策を実施していただいている。事故を分析し、対策をしっかりと行っていたきたい。』との発言があった。

(7) 安全運転管理者等に対する法定講習の実施について

県警察から、安全運転管理者等に対する法定講習の実施に関する報告があった。

5月22日から7月12日までの間、県内13会場において、各事業所の安全運転管理者及び副安全運転管理者が、自動車及び道路の交通に関する法令の知識や安全運転に必要な知識について講習を受ける。

委員から、『マンネリにならないように、有意義で効果のある講習となるようにしていただきたい。』との発言があった。

(8) 「県民防災の日」に伴う災害警備訓練等の実施について

県警察から、「県民防災の日」に伴う災害警備訓練等の実施に関する報告があった。

5月26日の「県民防災の日」に伴い、県警察においても、大規模災害発生時の初動対応に万全を期すことを目的に災害警備訓練を実施する旨の報告があった。

委員から、『住民を巻き込んで地域と共に訓練を行うことが大切である。想定外のこととも考えた訓練を是非お願いする。』との発言があった。